



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エイジス

コード番号 4659 URL <http://www.aiis-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 昭生

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 西岡 博之

TEL 043-350-0567

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,610	15.6	55	—	77	—	61	—
27年3月期第1四半期	3,989	6.1	△219	—	△205	—	△154	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 93百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △150百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	13.16	—
27年3月期第1四半期	△32.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	11,508	8,885	76.8
27年3月期	12,855	9,006	69.8

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 8,843百万円 27年3月期 8,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,100	7.6	766	6.6	780	5.5	474	11.2	100.79
通期	23,333	6.9	1,900	10.8	1,927	9.3	1,218	30.6	258.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	5,385,600 株	27年3月期	5,385,600 株
28年3月期1Q	682,659 株	27年3月期	682,580 株
28年3月期1Q	4,702,966 株	27年3月期1Q	4,781,590 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による大規模な経済政策や金融緩和政策により、円安・株価上昇が続き、企業業績の回復や設備投資の増加など、景気は緩やかな回復基調で推移し、明るい兆しが見られました。一方で、消費税増税、円安の影響による商品価格の値上げなどにより、消費者の節約志向は高まり、依然景気の先行きは、不透明な状況となっております。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましては、円安による原材料価格の値上げや電気料金の値上げ、慢性的な人材不足、さらに業種・業態を超えた価格競争の激化により厳しい経営環境が続いております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、「収益力強化」を中期課題として位置づけ、前期より引き続き取り組んでまいりました。重点施策である棚卸閑散期の業容拡大および生産性の改善については、いずれも着実に成果が表れました。

その結果、売上高は3,301百万円（前年同四半期比7.4%増）、セグメント損失は7百万円（前年同四半期比168百万円の損失減少）となりました。

② 海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては、売上増加基調で推移しております。利益面では、黒字化に向けて鋭意努力を続けておりますので、損失額は縮小傾向にあります。その結果、売上高は446百万円（前年同四半期比37.3%増）、セグメント損失は16百万円（前年同四半期比60百万円の損失減少）となりました。

③ リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、売上増加基調で推移しております。売上高は862百万円（前年同四半期比46.3%増）、セグメント利益は77百万円（前年同四半期比161.9%増）となりました。

これらの結果から、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,610百万円（前年同四半期比15.6%増）、営業利益は55百万円（前年同四半期は219百万円の損失）、経常利益は77百万円（前年同四半期は205百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は61百万円（前年同四半期は154百万円の損失）となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は11,508百万円（前連結会計年度比10.5%減）となりました。これは、主として第1四半期連結会計期間は閑散期につき前連結会計年度と比較して売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,623百万円（前連結会計年度比31.8%減）となりました。これは、主として閑散期による給与の未払金の減少および未払法人税等を納付したことによる減少です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は8,885百万円（前連結会計年度比1.4%減）となりました。これは、主として配当金の支払により、利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績経過は概ね計画通りの推移となっておりますので、現時点での通期の業績予想につきましては、平成27年5月8日に発表いたしました「平成27年3月期決算短信」に記載の業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及び当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,269,420	4,678,257
受取手形及び売掛金	3,097,872	2,035,655
有価証券	100,000	100,000
商品	99,566	99,566
貯蔵品	46,584	48,589
その他	396,031	400,507
流動資産合計	9,009,474	7,362,575
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	811,936	854,807
有形固定資産合計	2,088,331	2,131,202
無形固定資産	452,256	533,125
投資その他の資産		
その他	1,306,832	1,482,944
貸倒引当金	△1,408	△1,248
投資その他の資産合計	1,305,424	1,481,696
固定資産合計	3,846,011	4,146,024
資産合計	12,855,486	11,508,599
負債の部		
流動負債		
短期借入金	91,954	85,776
未払金	2,023,061	1,529,813
未払法人税等	334,336	74,427
賞与引当金	354,650	196,104
役員賞与引当金	14,875	3,978
その他	955,938	659,631
流動負債合計	3,774,815	2,549,732
固定負債		
退職給付に係る負債	5,208	395
その他	68,651	73,393
固定負債合計	73,859	73,788
負債合計	3,848,675	2,623,521

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	489,665	489,936
利益剰余金	9,481,754	9,331,998
自己株式	△1,568,325	△1,568,496
株主資本合計	8,878,093	8,728,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,846	73,304
為替換算調整勘定	44,999	42,062
その他の包括利益累計額合計	89,845	115,366
非支配株主持分	38,871	41,273
純資産合計	9,006,810	8,885,078
負債純資産合計	12,855,486	11,508,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,989,431	4,610,652
売上原価	3,288,021	3,515,671
売上総利益	701,410	1,094,980
販売費及び一般管理費	920,431	1,039,292
営業利益又は営業損失(△)	△219,021	55,688
営業外収益		
受取利息	788	1,176
受取配当金	5,473	6,564
受取賃貸料	5,836	7,048
物品売却益	—	5,980
その他	5,397	5,600
営業外収益合計	17,496	26,369
営業外費用		
支払利息	502	100
賃貸費用	2,960	3,205
その他	434	1,005
営業外費用合計	3,897	4,311
経常利益又は経常損失(△)	△205,422	77,746
特別利益		
投資有価証券売却益	—	44,356
特別利益合計	—	44,356
特別損失		
固定資産除却損	861	103
特別損失合計	861	103
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△206,283	121,999
法人税等	△53,357	54,435
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△152,926	67,563
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,978	5,683
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△154,905	61,880

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△152,926	67,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,207	28,457
為替換算調整勘定	1,005	△2,911
その他の包括利益合計	2,213	25,546
四半期包括利益	△150,713	93,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△153,250	87,401
非支配株主に係る四半期包括利益	2,537	5,708

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,074,940	325,047	589,443	3,989,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,688	—	3,553	15,242
計	3,086,628	325,047	592,997	4,004,674
セグメント利益又は損失(△)	△175,953	△77,014	29,731	△223,236

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損 失	金 額
報告セグメント計	△223,236
セグメント間取引消去	4,215
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△219,021

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,301,619	446,405	862,628	4,610,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,459	—	2,256	15,716
計	3,315,079	446,405	864,884	4,626,369
セグメント利益又は損失(△)	△7,088	△16,542	77,853	54,222

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	54,222
セグメント間取引消去	1,465
四半期連結損益計算書の営業利益	55,688

以 上